

かたらい



車の寄贈式

わかぐさ

令和六年五月二十一日、株式会社ホンダテクノフォート様より、将来を担う子どもたちの支援活動のお手伝いとして「ホンダフリード」の寄贈がありました。表紙は寄贈式の写真です。寄贈式後、子どもたちから感謝の気持ちを込めて、花束の贈呈を行いました。寄贈していただいた車両は、利用者の方々の支援に活用させていただきます。

No.104
2024.7.1

発行

社会福祉法人 とちぎ健康福祉協会

～わたしがつくる みんなでつくる

笑顔あふれる とちぎ健康福祉協会～

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1
TEL (028)622-2846 FAX (028)621-1422
【U R L】 <https://www.kenkoufukushi.com>
【E-mail】 kenkoufukushi@arion.ocn.ne.jp

行事あれこれ

ねんりんピックとちぎ2024

生きがいづくり課

「ねんりんピックとちぎ2024スポーツ・文化交流大会」は四月十八日から約一か月半、十七種目の競技を開催しました。

近年の感染症による影響で競技人口や参加者が減少傾向にありましたが、今年度は、再開された競技や新しい競技にチャレンジしたいという声が多く聞こえました。

また、シルバー作品展では、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門に合計百九十九点と多くの応募があり、五月二十九日（水）から五日間にわたり全ての作品が展示されました。作者の想いがたくさん詰まった素晴らしい作品ばかりで、作品展にはたくさんの人々が来場されました。

シルバー作品展の上位入賞作品十二点とともに、スポーツ・文化交流大会等で選ばれた十九種目の選手の方は、栃木県代表選手として十月十九日

（土）から鳥取県で開催される第三十六回全国健康福祉祭とつとり大会（愛称…ねんりんピックはばたけ鳥取2024）に参加します。

栃木県選手団の皆様がどんなはつらつプレーを見せてくれるのか、ご活躍を期待しています。



「とちぎ健康の森」健康づくりDay2024

生きがい健康部

六月二日（日）、とちぎ健康の森では、県民の日協賛イベントとして、「とちぎ健康の森」健康づくりDay2024を開催しました。開催当日はあいにくの天気ではありましたが、多くの方に足を運んでいただきました。運動フロアでは、健康づくり体験レッスンや卓球台無料開放、フリースロー大会、反射測定を実施し、体を動かして楽しんでいただきました。多目的フロアでは、骨密度測定とそれに伴う健康相談、体組成測定・ロコモ度測定を実施し、身体の状態を把握する良い機会になったとの声をいただきました。販売・休憩スペースでは、各団体の紹介・県内福祉施設の生産品販売を行いました。さらに、シルバー作品展も同時開催いたしました。



ご来館いただいた多くの方々、運営にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

基本計画（四期計画）がスタート！

「わたしがつくる みんなでつくる 笑顔あふれる とちぎ健康福祉協会」を新たなスローガンに、とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）が、令和六年度から一〇年度までの五年間を期間として、その取り組みが始まりました。

【基本理念】

私たちは、誰もが自分らしく、希望を持って笑顔いっぱいに生きられるよう、共に歩んでいきます。

【基本方針】

- 一 安全安心で良質なサービスの提供
サービスの質・満足度の向上に取り組み、安心で適切かつ良質なサービスを提供します。
- 二 やりがいと誇りの持てる職場づくり
職員それぞれの能力を最大限に発揮でき、働く喜びを感じられる職場をつくりまします。
- 三 地域社会への貢献と信頼構築
地域とのつながりを深め、地域社会に貢献することで、信頼され選ばれる法人を目指します。
- 四 健全で堅実な経営
計画的で効率的な事業運営とコンプライアンス（法令遵守）の徹底により、安定的な経営に努めます。

これらの基本方針のもと、各施設や各課単位で、取組内容に対する評価指標（目標値）を設定し、五年間の取組スケジュールを明確にしました。計画の達成度を定期的に評価することで、計画の見直し・改善を行っていきます。

また、基本方針の二「やりがいと誇りの持てる職場づくり」では、私たち職員に向けた指針を新たに設定しています。「多様な採用活動による人材の確保」、「働きやすくやりがいのある職場づくり」、「キャリアパス制度に基づく人材育成の推進」が、主な行動指針となっており、人材の確保・定着・育成において、これまで以上に力を入れていくこととしました。

四期計画は、法人の目指すべき方向性、将来像を明確にしたものです。新たな時代に対応し、更なる「成長と発展」を図っていくとともに、スローガンにあるように、私たち一人ひとりの個人の力と、職員みんなの力を合わせて、利用者の方の「笑顔」、働く職員の「笑顔」、たくさんの方の「笑顔」があふれる協会を目指して取り組んでいきたいと思います。

令和六年度とちぎ健康福祉協会事業計画

I 事業運営方針

令和六年度は、とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）を事業運営方針とし、「私たちは、誰もが自分らしく、希望を持って笑顔いっぱいに生きられるよう、ともに歩んでいきます。」の基本理念のもと、「安全安心で良質なサービスの提供」、「やりがいと誇りを持てる職場づくり」、「地域社会への貢献と信頼構築」、「健全で堅実な経営」の四つの基本方針に基づき、各施設等における事業を推進していく。

II 重点事項

令和六年度は、次の事項について重点的に取り組む。

- 1 安全安心で良質なサービスの提供
- （1）社会福祉施設のさらなるサービスの質の向上

福祉サービス第三者評価等を活用し、自らの支援について振り返ることにより、より一層のサービスの質の向上を図る。

令和六年度福祉サービス第三者評価受審予定施設 宝木保育園

- （2）指定管理事業の着実な実施

本年度からの第五期（一〇年間）指定管理事業において、「とちぎはつらつプラン21（九期計画）」や「とちぎ健康21プラン（二期計画）」に沿った事業を着実に実施するとともに、社会情勢に応じたキャッシュレス決済の導入、シルバー大学校授業のオンライン配信の導入（授業のハイブリッド化）を実施するなどして利用者等のニーズにきめ細やかに対応し、県民サービスの一層の向上を図る。

- （3）事業継続マネジメント（BCM）の実践

有事においても事業が継続できるように令和五年度に作成した事業継続計画（BCP）に基づき、緊急時に備えて各施設等において実践的な訓練を実施する。

令和 6 年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算

(自) 令和 6 年 4 月 1 日

(至) 令和 7 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目		予算額 (A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
事業活動による収入支	児童福祉事業収入	173,125,000	203,230,000	△ 30,105,000
	保育事業収入	240,110,000	225,155,000	14,955,000
	就労支援事業収入	30,423,000	25,194,000	5,229,000
	障害福祉サービス等事業収入	1,744,075,000	1,694,296,000	49,779,000
	指定管理者事業収入	610,874,000	559,164,000	51,710,000
	高齢者生きがいづくり支援事業収入	93,126,000	98,046,000	△ 4,920,000
	借入金利息補助金収入	8,000	10,000	△ 2,000
	経常経費寄附金収入	37,000	37,000	0
	受取利息配当金収入	1,620,000	1,620,000	0
	その他の収入	44,035,000	45,695,000	△ 1,660,000
	事業活動収入計 (1)	2,937,433,000	2,852,447,000	84,986,000
	人件費支出	1,816,912,000	1,741,942,000	74,970,000
	事業費支出	531,429,000	532,949,000	△ 1,520,000
	事務費支出	522,673,000	490,194,000	32,479,000
	就労支援事業支出	28,914,000	25,128,000	3,786,000
	支払利息支出	5,768,000	6,001,000	△ 233,000
	その他の支出	3,673,000	3,794,000	△ 121,000
	事業活動支出計 (2)	2,909,369,000	2,800,008,000	109,361,000
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	28,064,000	52,439,000	△ 24,375,000
施設整備等による収入支	収入			
	施設整備等補助金収入	2,000	2,000	0
	施設整備等収入計 (4)	2,000	2,000	0
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	46,659,000	46,658,000	1,000
	固定資産取得支出	24,877,000	13,178,000	11,699,000
その他の活動による収入支	固定資産除却・廃棄支出	99,000	0	99,000
	ファイナンス・リース債務の返済支出	13,712,000	11,320,000	2,392,000
	施設整備等支出計 (5)	85,347,000	71,156,000	14,191,000
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 85,345,000	△ 71,154,000	△ 14,191,000
	収入			
	積立資産取崩収入	24,501,000	12,572,000	11,929,000
	事業区分間繰入金収入	23,528,000	83,730,000	△ 60,202,000
	拠点区分間繰入金収入	115,960,000	186,739,000	△ 70,779,000
	サービス区分間繰入金収入	14,180,000	11,096,000	3,084,000
	その他の活動による収入	606,000	606,000	0
	その他の活動収入計 (7)	178,775,000	294,743,000	△ 115,968,000
	支出			
	積立資産支出	108,317,000	106,824,000	1,493,000
	事業区分間繰入金支出	23,528,000	83,730,000	△ 60,202,000
	拠点区分間繰入金支出	115,960,000	186,739,000	△ 70,779,000
	サービス区分間繰入金支出	14,180,000	11,096,000	3,084,000
	その他の活動による支出	4,000	7,002,000	△ 6,998,000
	その他の活動支出計 (8)	261,989,000	395,391,000	△ 133,402,000
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 83,214,000	△ 100,648,000	17,434,000
予備費支出 (10)		53,500,000	53,500,000	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 193,995,000	△ 172,863,000	△ 21,132,000
前期末支払資金残高 (12)		736,277,000	683,791,000	52,486,000
当期末支払資金残高 (11) + (12)		542,282,000	510,928,000	31,354,000

○ 2 やりがいと誇りを持てる職場づくり
人材の確保、定着、育成
○ 1 人材の確保、定着、育成
多様な採用活動による人材の確保
人材の確保に向けて従来から実施して
いるオンライン説明会に加え、令和五年度
から実施しているインターンシップの充
実、リクルートサイトやSNS等の活用
等、多様な採用活動を展開する。
○ 働きやすくやりがいのある職場づくり
職員一人一人が働きやすく、やりがいを
持てるよう職場環境改善を推進する。
より適正な労務管理を図るため、新たな
勤怠管理システムの導入を行うとともに
に、福祉施設において、職員の十分なコン
センサスに基づくICT導入を推進する。
○ キャリアパス制度に基づく人材育成の推進
人材育成にあたっては、キャリアパス制
度の運用により、職員のモチベーション向
上を図り、キャリアパス等級制度と連携し

た階層別育成計画を策定し、体系的な人材
育成を推進する。
3 地域社会への貢献と信頼構築
○ 1 法人の魅力発信
令和五年度に各施設等のリニューアルが
完了したホームページを最大限に活用し、
積極的に法人や各施設等の魅力を発信する。
4 健全で堅実な経営
○ 1 業務の効率化
ICT機器の活用や業務の自動化等によりDXを推進し、時間外勤務の縮減及び
利用者支援の充実を図る。
○ 2 障がい者支援センターふれあい建替整
備の実施
障がい者支援センターふれあい及びグ
ループホームボプラの移転建替整備につ
いては、防災機能の付加やグループホーム
定員の増による機能の充実を実現するた
め、令和七年度中の完成に向け推進する。

とちぎ健康福祉協会役員名簿

(令和 6 年 7 月 1 日現在)

評議員 (敬称略・順不同)

氏 名	所 属
関根 房三	栃木県社会福祉協議会 会長
桶田 正信	栃木県老人クラブ連合会 会長
麦倉 仁巳	栃木県身体障害者団体連絡協議会 会長
島田 次秀	栃木県民生委員児童委員協議会 会長
佐護 操	栃木県手をつなぐ育成会 副会長
浜野 修	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長
山形 崇倫	栃木県立リハビリテーションセンター理事長兼所長

理 事 (敬称略・順不同)

氏 名	所 属
小川 俊彦	とちぎ健康福祉協会 理事長
島田 充高	とちぎ健康福祉協会 常務理事総務福祉部長
松村 誠	とちぎ健康福祉協会 常務理事生きがい健康部長
花本 哲也	とちぎ健康福祉協会 総務福祉部総務課長
荒井 一宏	とちぎ健康福祉協会 参事兼桜ふれあいの郷所長
小室 悦子	とちぎ健康福祉協会 宝木保育園長

監 事 (敬称略・順不同)

氏 名	所 属
大橋 哲也	栃木県国民健康保険団体連合会 常務理事
増山 雄貴	増山公認会計士事務所 公認会計士・税理士

健康の森 ワンポイントアドバイス

「座りっぱなしは危険!」

一日何時間座っていますか?

今年一月に一〇年ぶりに改訂された厚生労働省の「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」では、「座位行動」という概念が新たに設けられました。

座りっぱなししていると、身体の中で一番大きな筋肉の太ももや、血液を心臓に戻す重要な役割を担うふくらはぎがほとんど動かない状態になります。そのような生活を続けていると、肥満や糖尿病、高血圧やうつ病、がん等の健康リスクを招く可能性があります。また、一日八時間以上座り続けると死



亡率が高くなるという研究結果も出ています。この座りすぎ問題の厄介なところが、週末にまとめて運動して解消するわけにはいかないということです。

座りすぎによる健康リスクを回避するために、まずは小まめに立ち上がること（できれば三十分一度）を心がけていきましょう。「用件を伝える際はメールや内線を使わずに、直接会いに行く」「調べ物をする際は立ったまま行う」等もオススメです。難しい場合は、かかと上げや、座ったまま足踏みといった簡単なエクササイズ、ストレッチ等を取り入れるだけでもリスクの軽減に繋がります。今日から意識して「脱座りっぱなし」を目指しましょう。



Instagram 発信中!!

協会の事業や各施設の行事・イベント、研修の様子、日々働く皆さんの姿等、随時投稿しています。協会の魅力をたくさん発信していきたい、より多くの人に協会について知っていただきたいです!!

みなさん、フォローと「いいね!」をお願いします。

【アドレス】

https://www.instagram.com/tochigi_kenkoufukushi_kyoukai/

